

8.子どもが病気の際の対応

(1)子どもが病気等で事業が利用できなかったこと／学校を休む必要があったこと

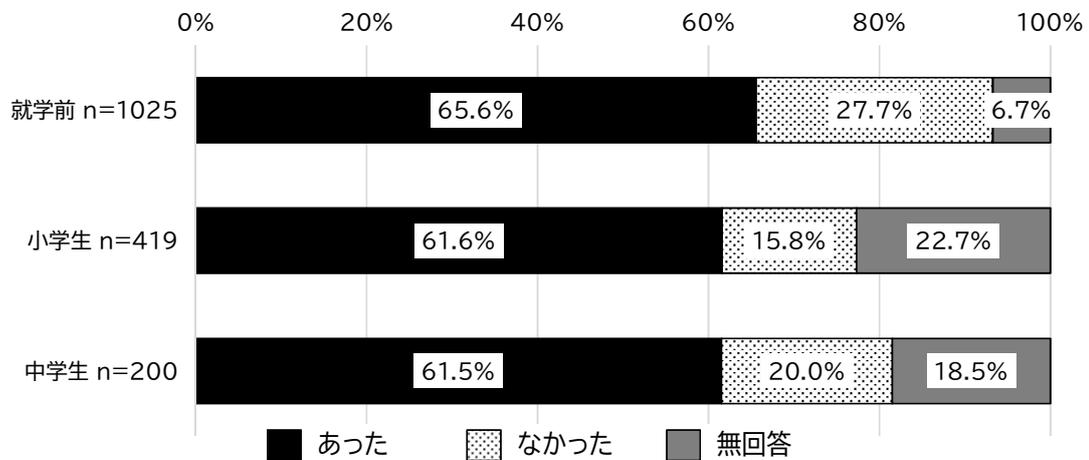
<就学前:問24、小中学生:問21>

未就学児は平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答した方

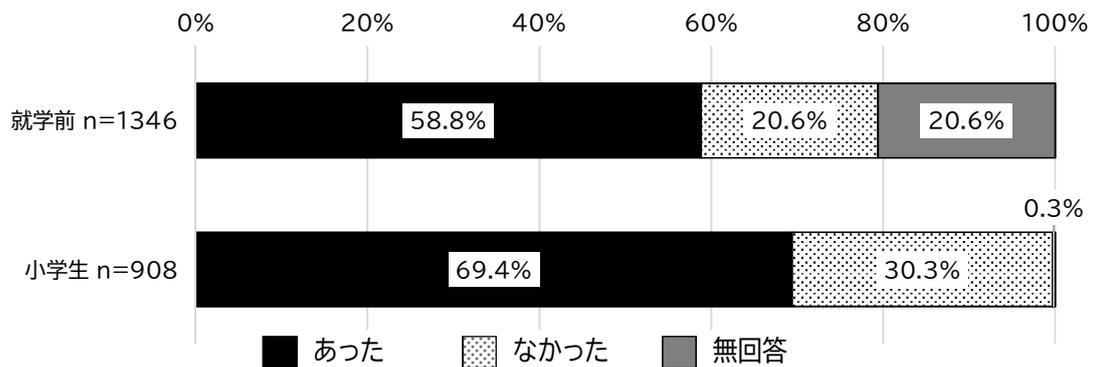
この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで
(就学前)通常の事業が利用できなかったこと
(小中学生)学校を休まなければならなかったこと
はありますか。

就学前保護者は「あった」が65.6%、「なかった」が27.7%となっています。
小学生保護者は「あった」が61.6%、「なかった」が15.8%となっています。
中学生保護者は「あった」が61.5%、「なかった」が20.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(2)子どもが病気等で事業が利用できなかった・学校を休む必要があった際の対処方法

<就学前:問24-1、小中学生:問21-1>

問24(就学前)／問21(小中学生)で「あった」と回答した方

対象のお子さんが病気やけがで
(就学前)普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、
(小学生)学校を休まなければならなかった場合に、
この1年間に行った対処方法はどれですか。(複数回答)

就学前保護者は「母親が休んだ」が75.4%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が49.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が19.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が17.3%となっています。

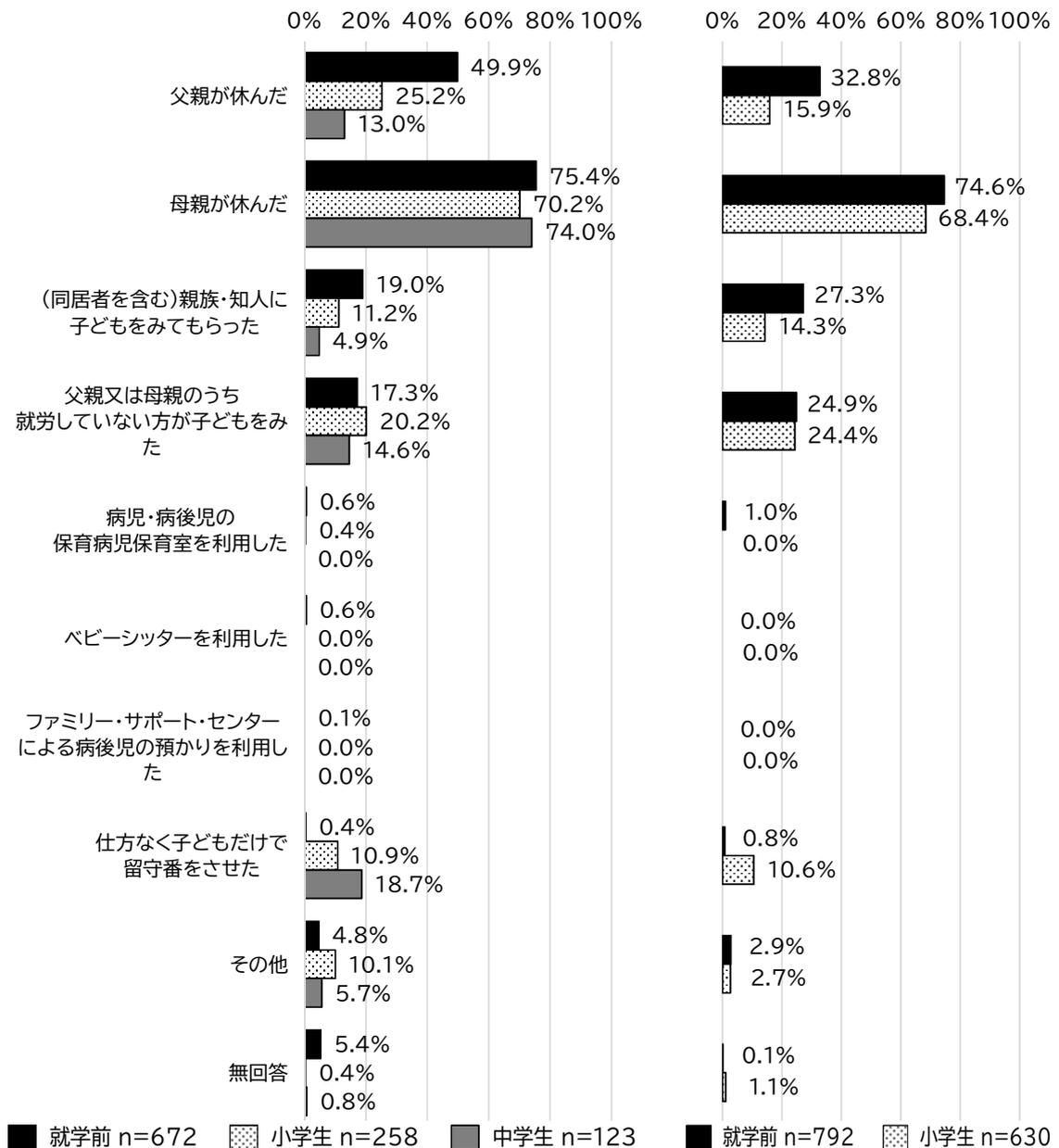
小学生保護者は「母親が休んだ」が70.2%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が25.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が20.2%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が11.2%となっています。

中学生保護者は「母親が休んだ」が74.0%と最も多く、次いで「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が18.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が14.6%、「父親が休んだ」が13.0%となっています。

対処方法

【今回調査】

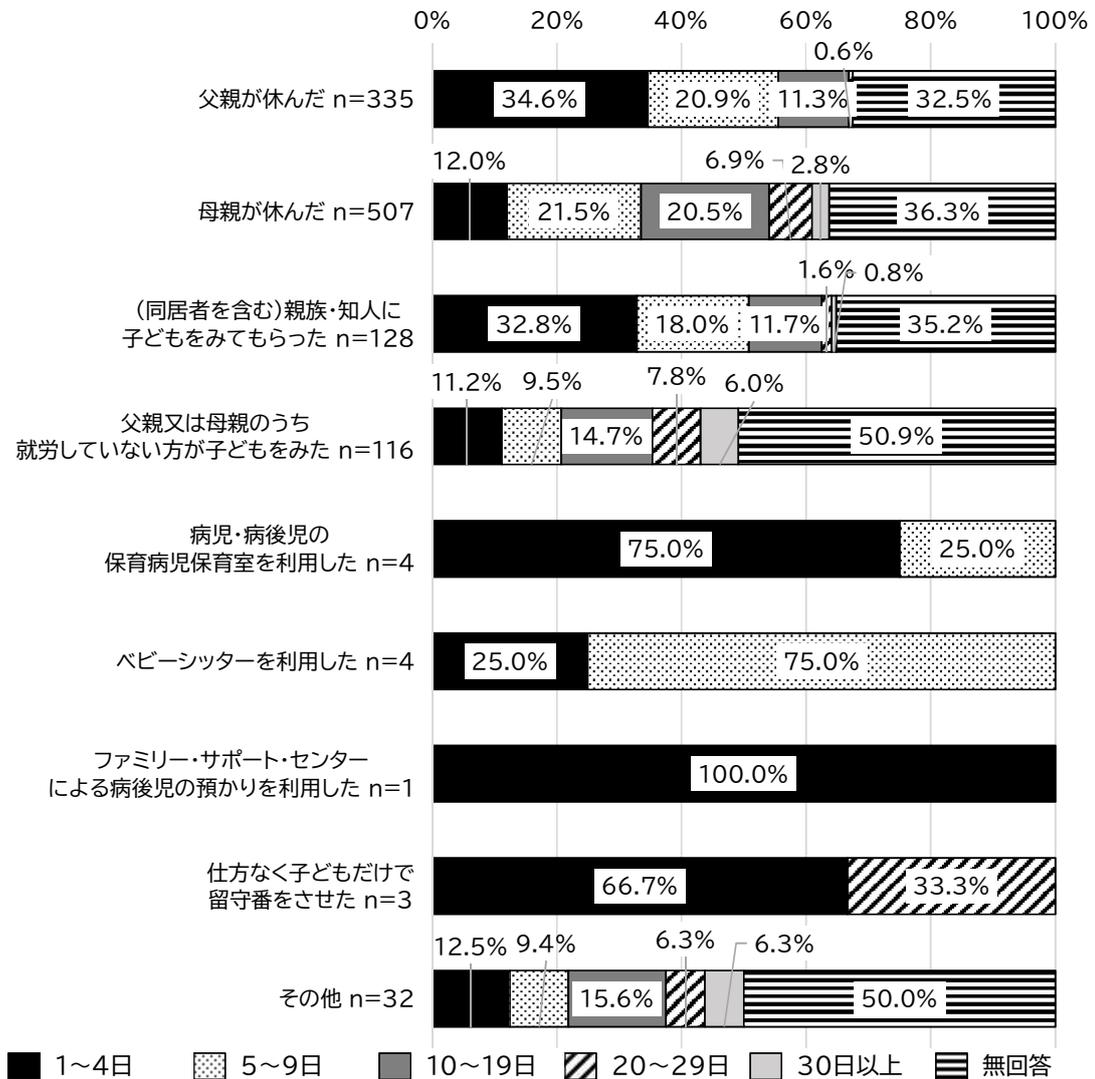
【前回調査】



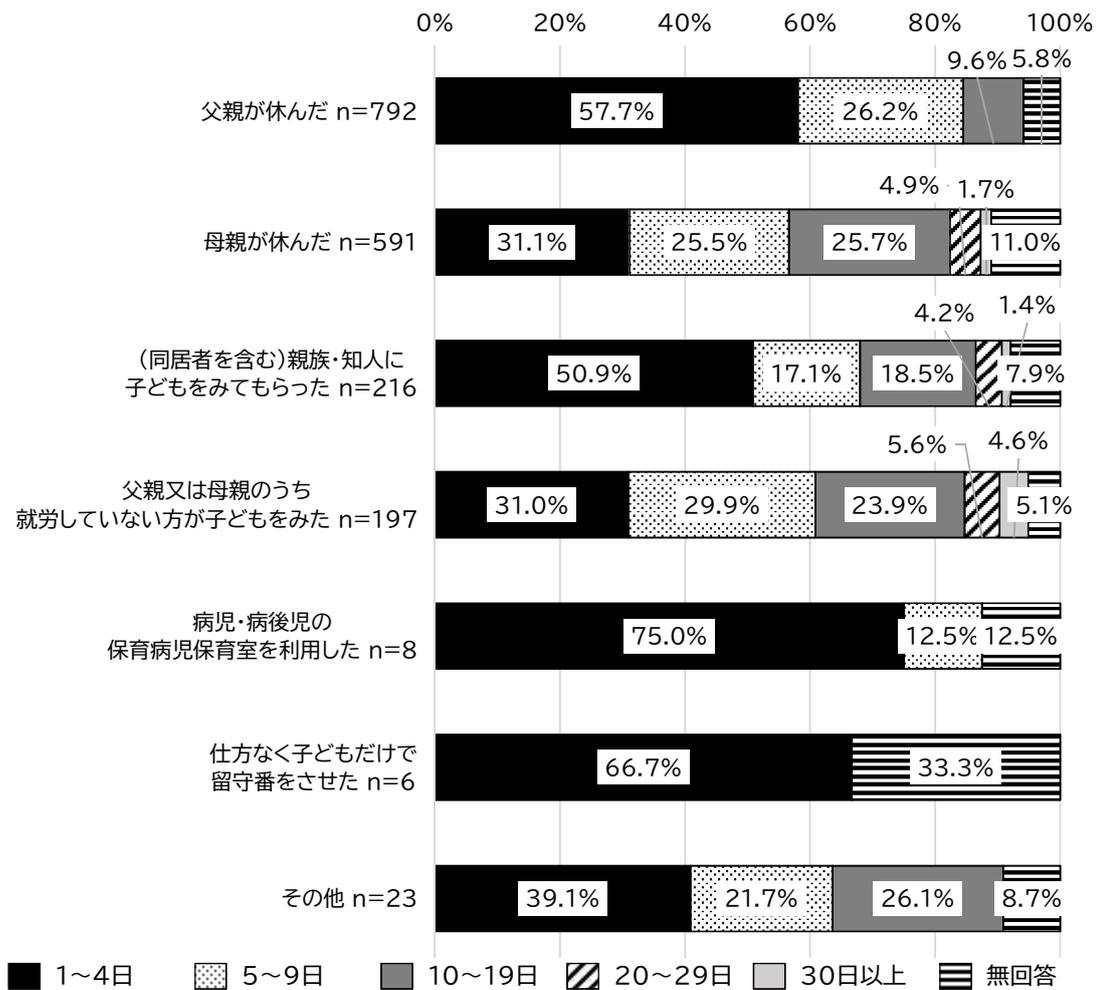
日数

◆就学前児童

【今回調査】



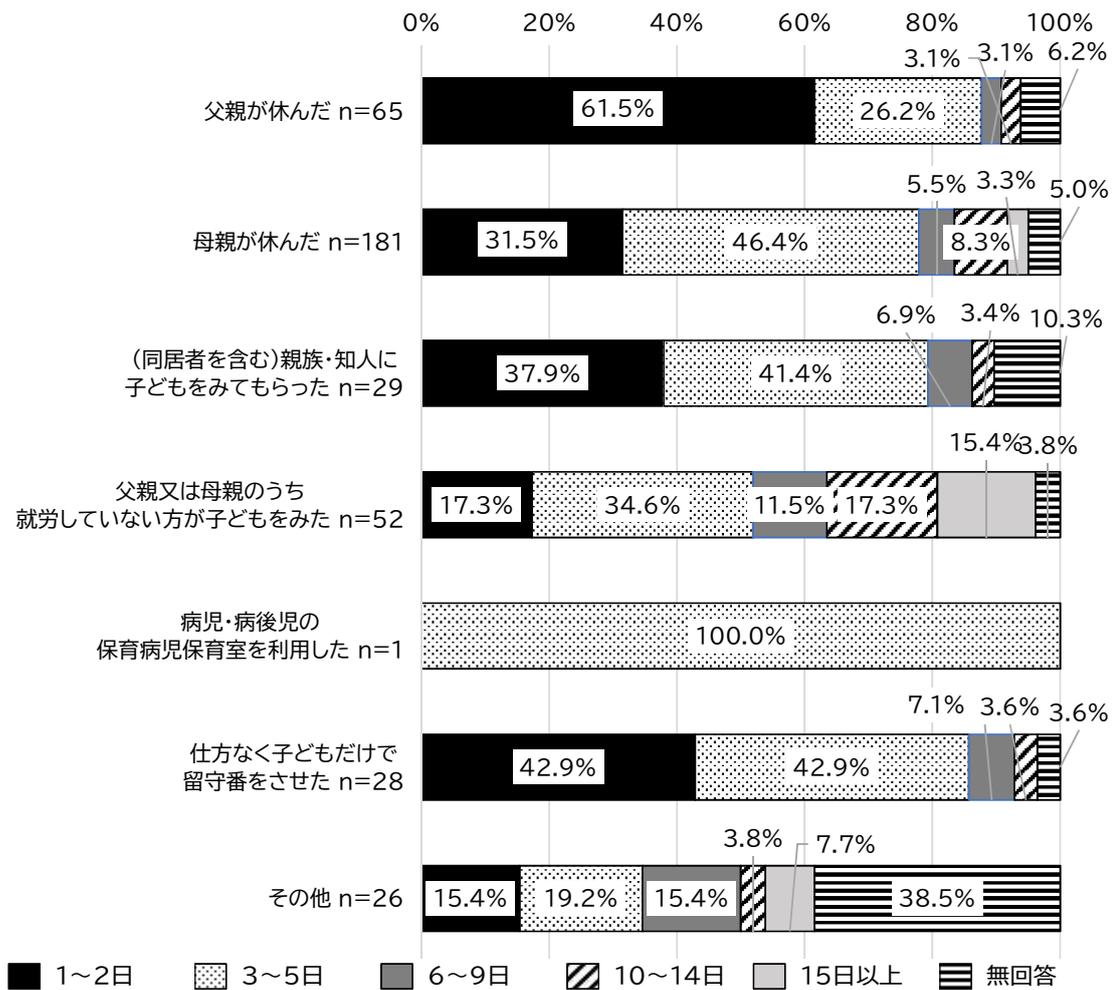
【前回調査】



※前回調査では、「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターによる病後児の預かりを利用した」は回答者がいないため、図を省略している

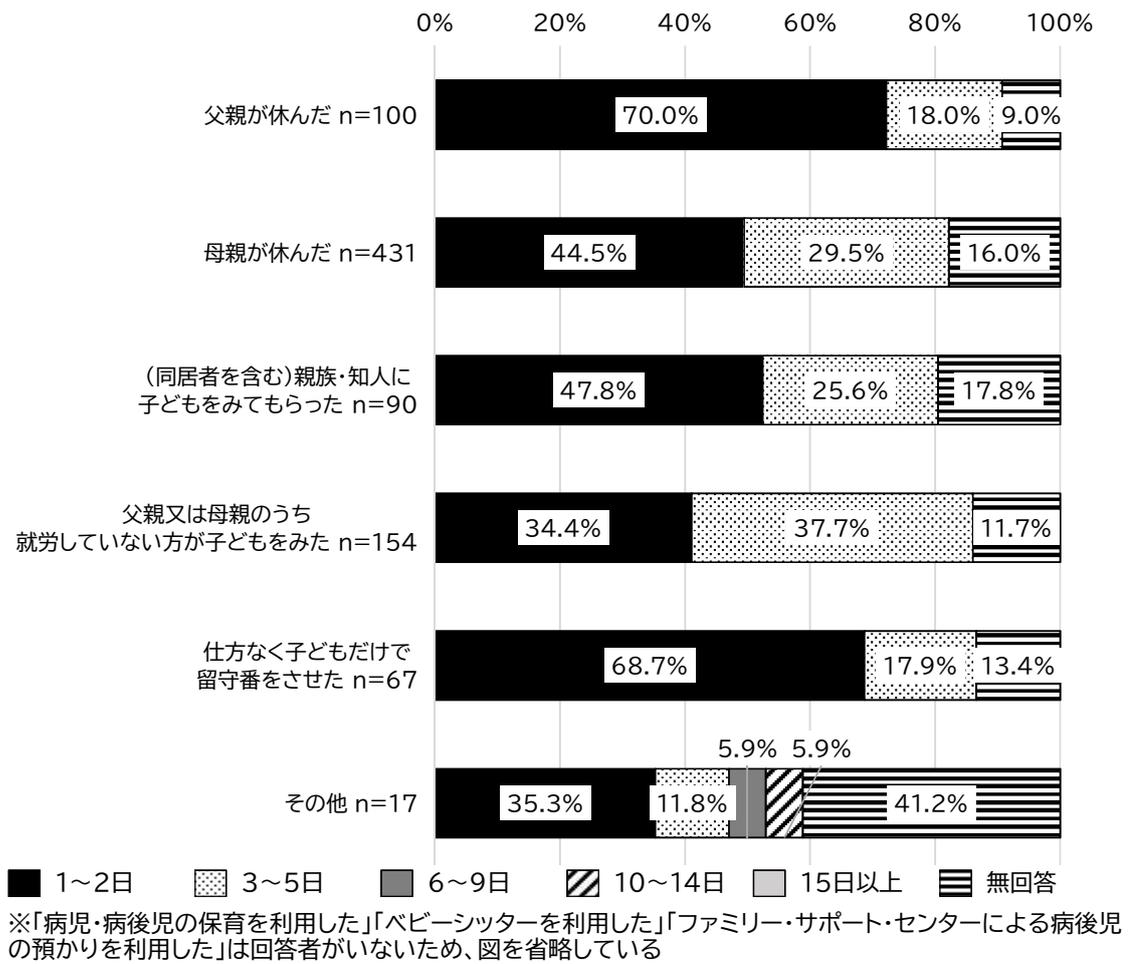
◆小学生

【今回調査】



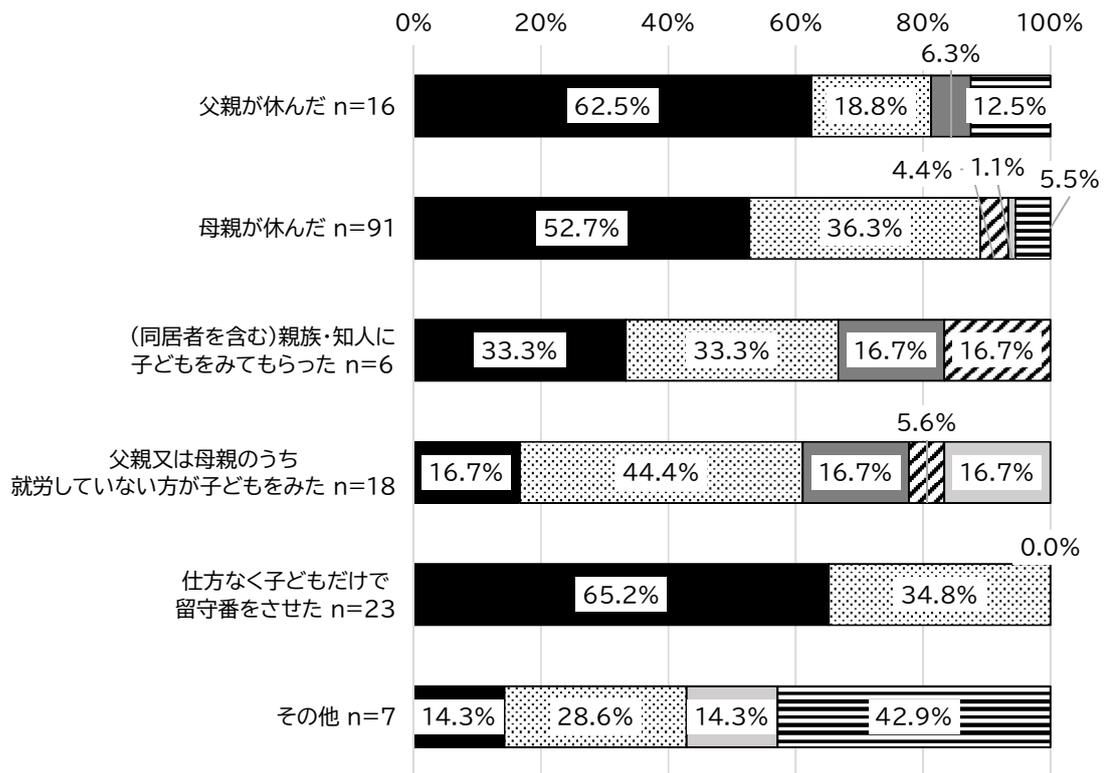
※「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターによる病後児の預かりを利用した」は回答者がいないため、図を省略している

【前回調査】



◆中学生

【今回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

※「病児・病後児の保育病児保育室を利用した」「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターによる病後児の預かりを利用した」は回答者がいなかったため、図を省略している

(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望と利用したい日数

<就学前:問24-2、小中学生:問21-2>

問24-1(就学前)／問21-1(小中学生)「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した方

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(単数回答)

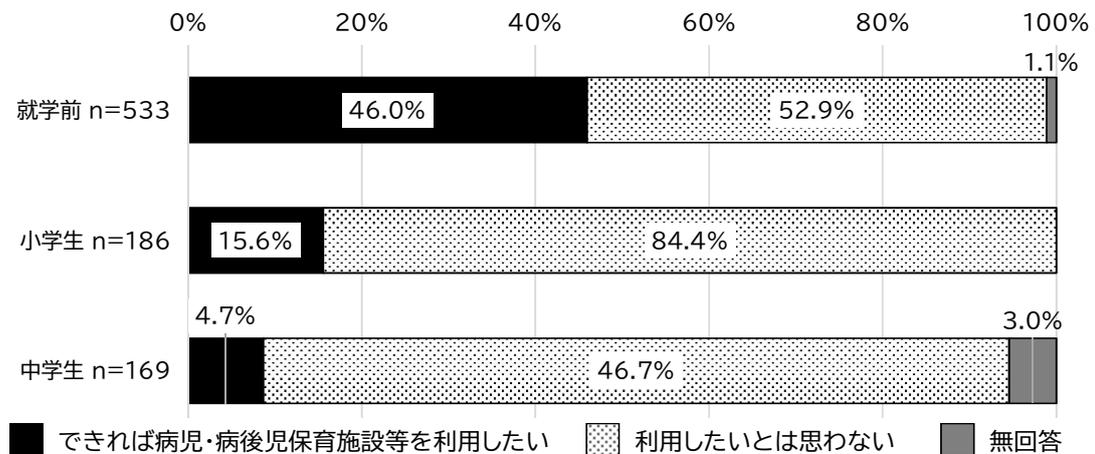
※なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

就学前保護者は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が46.0%、「利用したいとは思わない」が52.9%となっています。

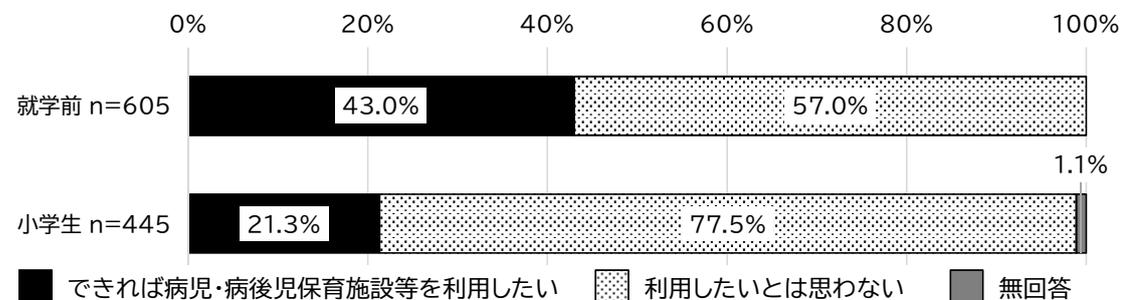
小学生保護者は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が15.6%、「利用したいとは思わない」が84.4%となっています。

中学生保護者は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が4.7%、「利用したいとは思わない」が46.7%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

利用したい日数

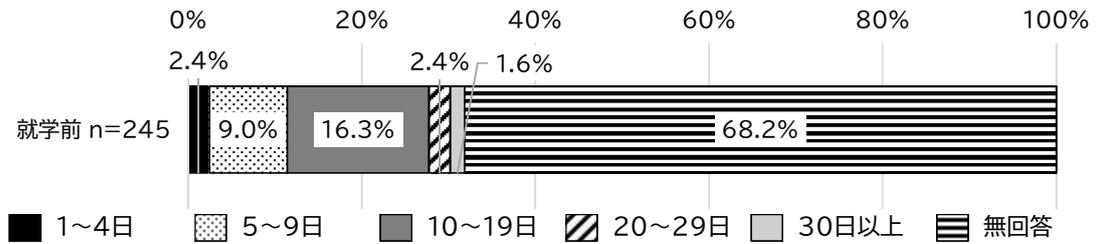
就学前保護者は「10～19日」が16.3%と最も多く、次いで「5～9日」が9.0%、「1～4日」と「20～29日」が2.4%となっています。

小学生保護者は「3～5日」が51.7%と最も多く、次いで「1～2日」が13.8%、「6～9日」、「10～14日」、「15日以上」が6.9%となっています。

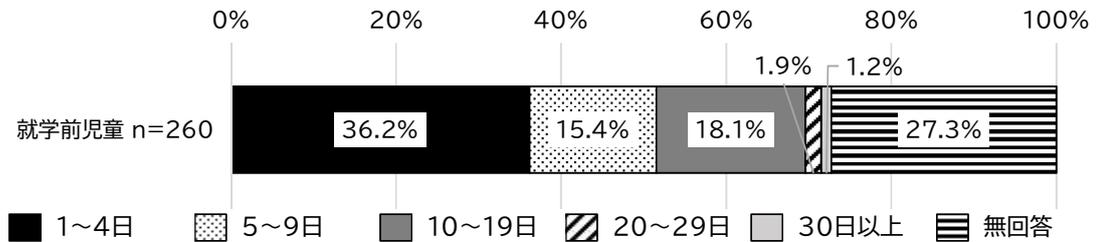
中学生保護者は「3～5日」が50.0%と最も多く、次いで「1～2日」が25.0%、「6～9日」と「10～14日」が12.5%となっています。

◆就学前児童

【今回調査】

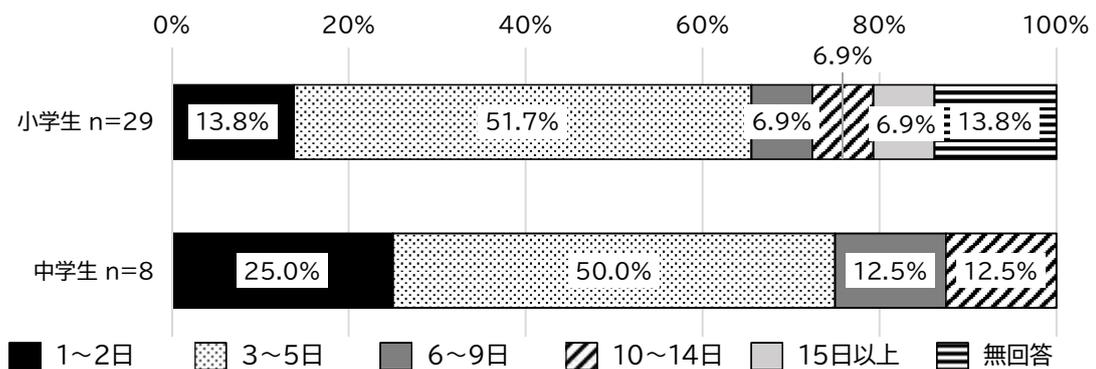


【前回調査】

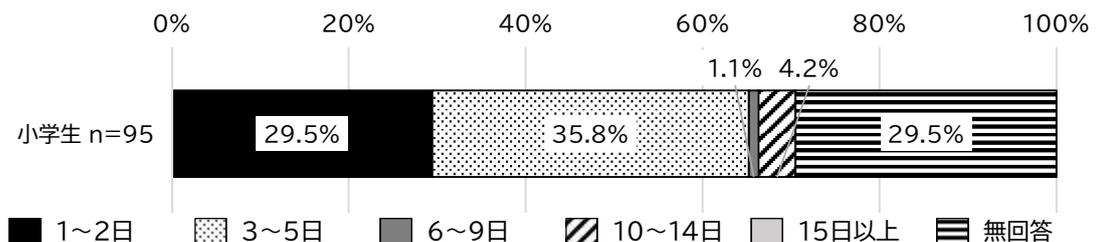


◆小中学生

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(4)望ましい事業形態

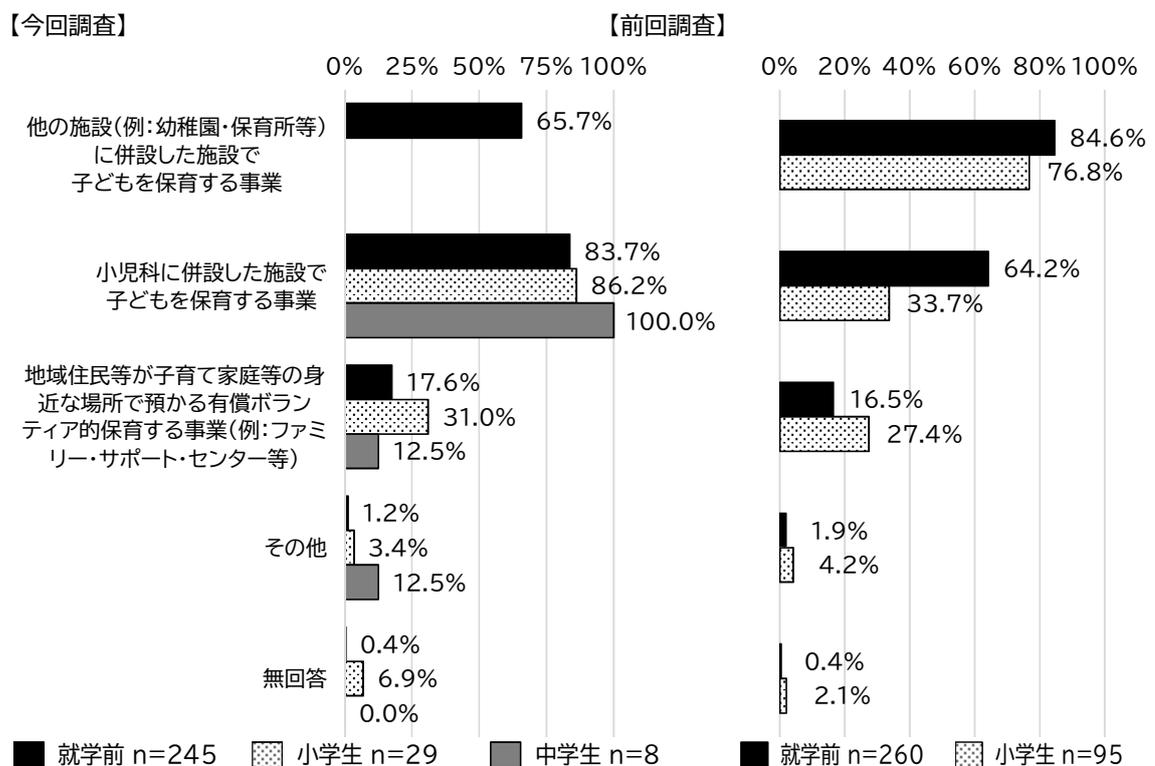
<就学前:問24-3、小中学生:問21-3>

問24-2(就学前)／問21-2(小中学生)で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方
上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

就学前保護者は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が83.7%と最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる有償ボランティア的保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が17.6%、「その他」が1.2%となっています。

小学生保護者は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が86.2%と最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる有償ボランティア的保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が31.0%、「その他」が3.4%となっています。

中学生保護者は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が100.0%と最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる有償ボランティア的保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」と「その他」がともに12.5%となっています。



※前回調査では、中学生保護者はなし

※小中学生保護者には、「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」の選択肢はなし

(5)利用したいと思わない理由

<就学前:問24-4、小中学生:問21-4>

問24-2(就学前)／問21-2(小中学生)で「利用したいと思わない」と回答した方
 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

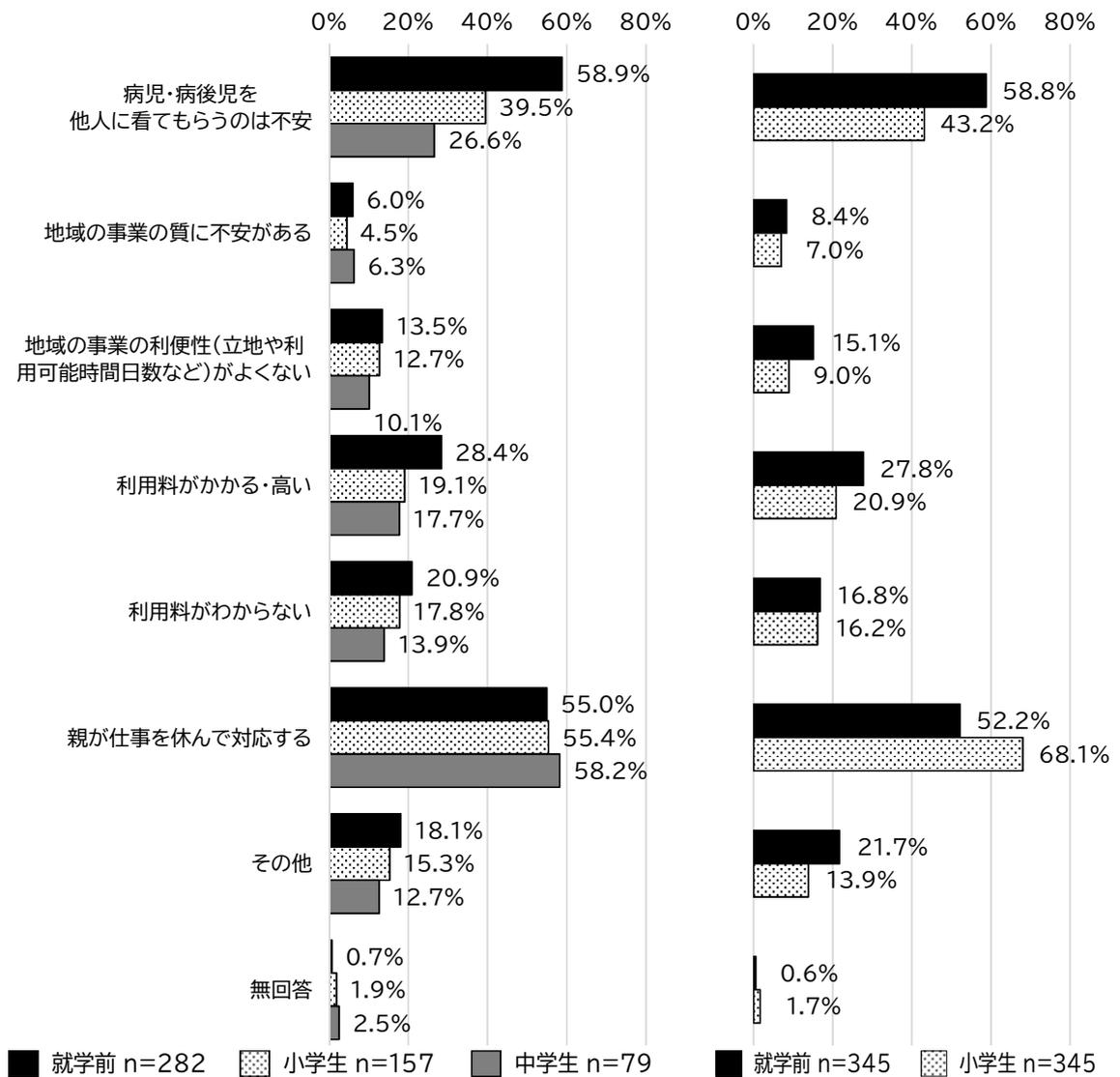
就学前保護者は「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が58.9%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が55.0%、「利用料がかかる・高い」が28.4%、「利用料がわからない」が20.9%、「その他」が18.1%となっています。

小学生保護者は「親が仕事を休んで対応する」が55.4%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が39.5%、「利用料がかかる・高い」が19.1%、「利用料がわからない」が17.8%、「その他」が15.3%となっています。

中学生保護者は「親が仕事を休んで対応する」が58.2%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が26.6%、「利用料がかかる・高い」が17.7%、「利用料がわからない」が13.9%、「その他」が12.7%となっています。

【今回調査】

【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(6) 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうか

<就学前:問24-5、小中学生:問21-5>

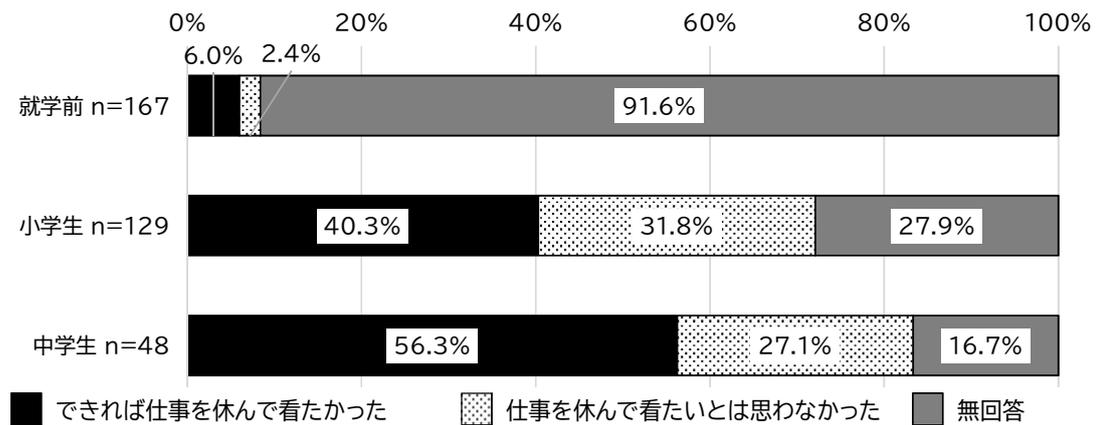
問24-1(就学前)／問21-1(小中学生)で「父親」、「母親」以外のいずれかに回答した方
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(単数回答)

就学前保護者は「できれば仕事を休んで見たかった」が6.0%、「仕事を休んで看たいとは思わなかった」が2.4%となっています。

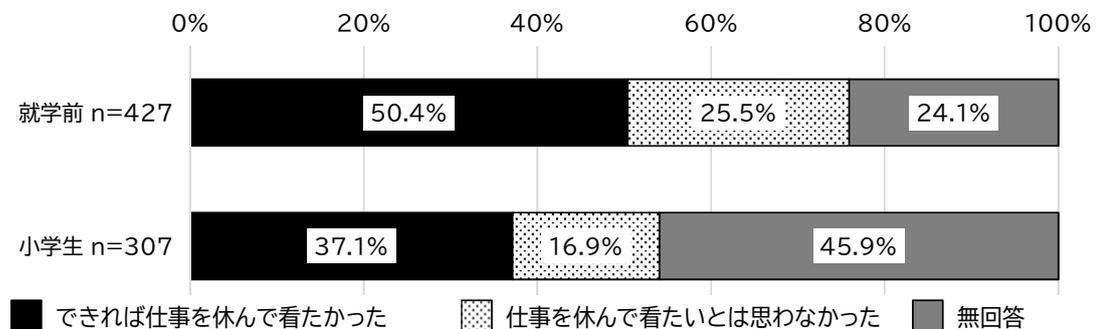
小学生保護者は「できれば仕事を休んで見たかった」が40.3%、「仕事を休んで看たいとは思わなかった」が31.8%となっています。

中学生保護者は「できれば仕事を休んで見たかった」が56.3%、「仕事を休んで看たいとは思わなかった」が27.1%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



看護したかった日数(年間)

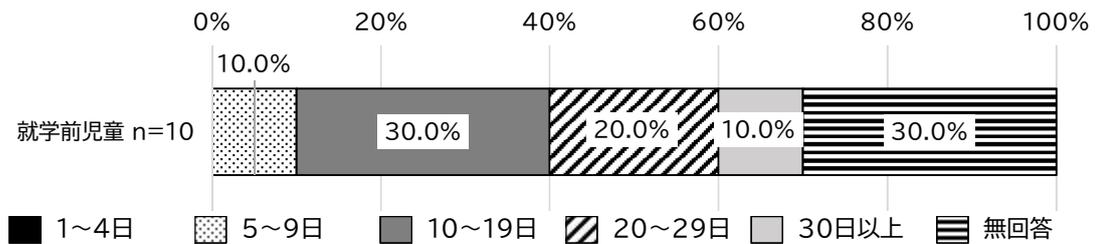
就学前保護者は「10～19日」が30.0%と最も多く、次いで「20～29日」が20.0%、「1～4日」や「30日以上」が10.0%となっています。

小学生保護者は「3～5日」が46.2%、「1～2日」が13.5%、「6～9日」と「10～14日」が7.7%となっています。

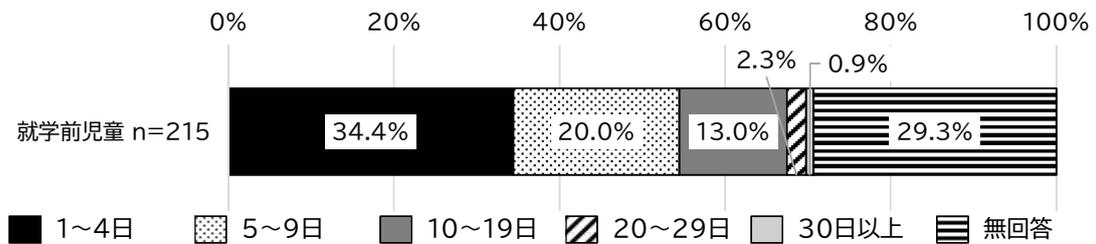
中学生保護者は「3～5日」が25.9%、「1～2日」が18.5%、「6～9日」と「10～14日」が3.7%となっています。

◆就学前児童

【今回調査】

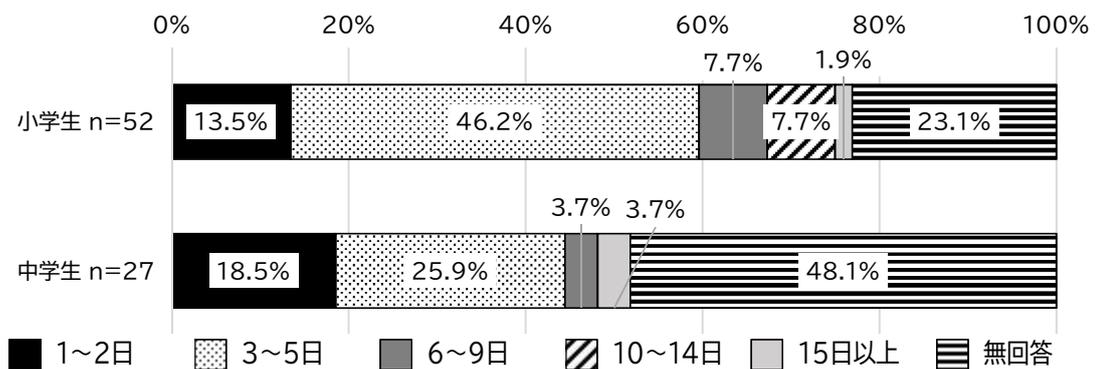


【前回調査】

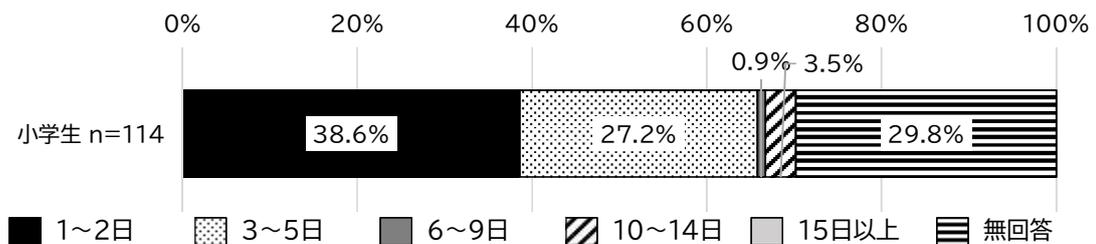


◆小中学生

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(7)仕事を休んで看ることが難しい理由

<就学前:問24-6、小中学生:問21-6>

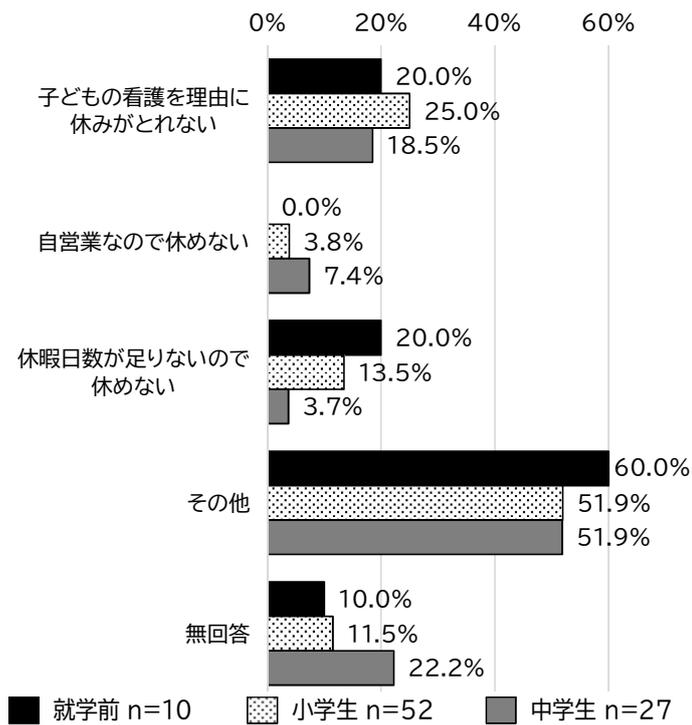
問24-5(就学前)／問21-5(小中学生)で「できれば仕事を休んで見たかった」と回答した方
仕事を休んで看ることができない(できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

就学前保護者は「その他」が60.0%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」と「休暇日数が足りないので休めない」がともに20.0%となっています。

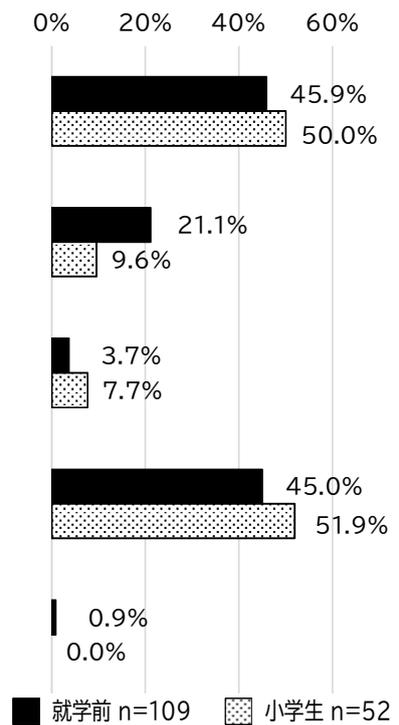
小学生保護者は「その他」が51.9%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が25.0%、「休暇日数が足りないので休めない」が13.5%、「自営業なので休めない」が3.8%となっています。

中学生保護者は「その他」が51.9%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が18.5%、「自営業なので休めない」が7.4%、「休暇日数が足りないので休めない」が3.7%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

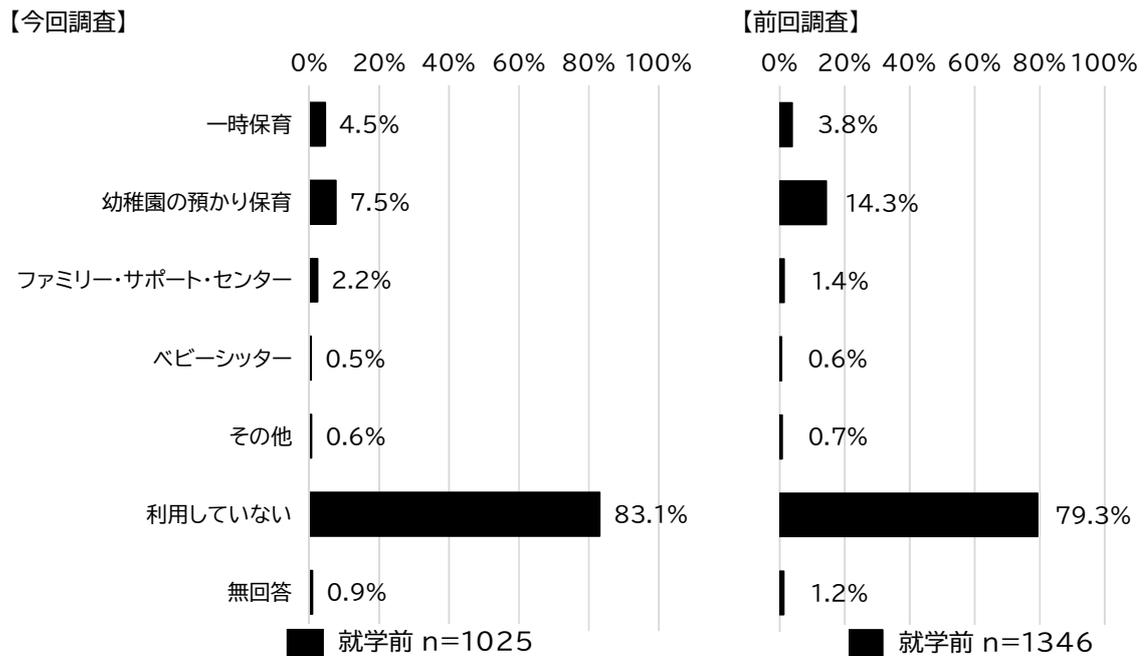
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

(1) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数

<就学前:問25>

宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(複数回答)

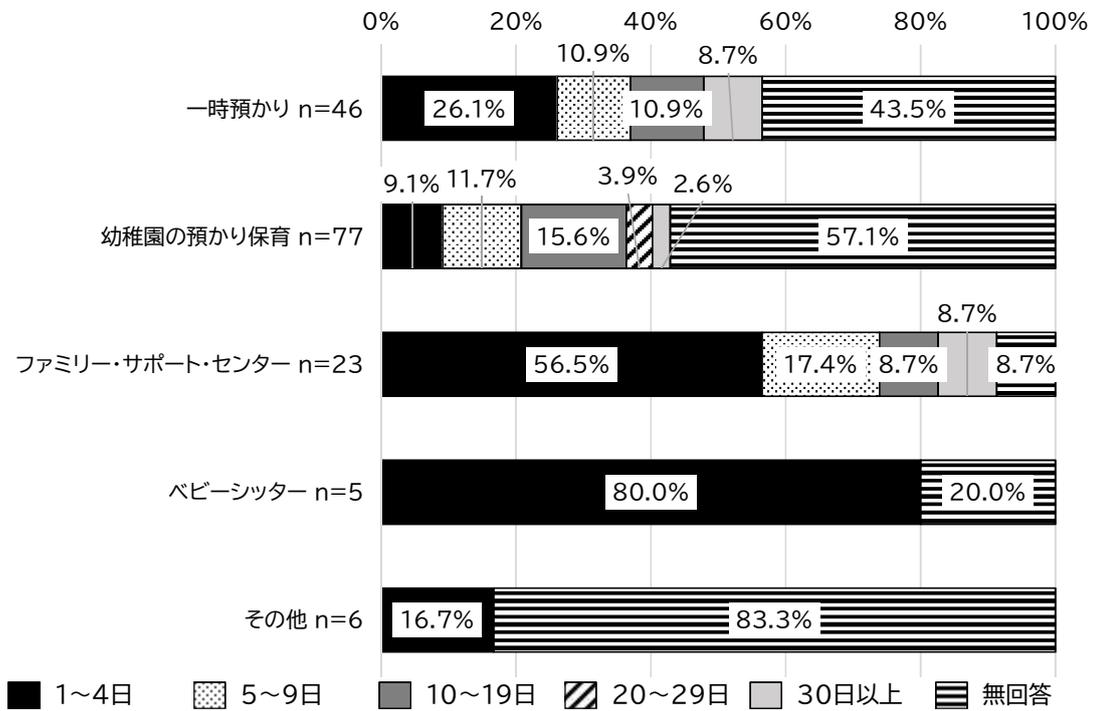
就学前保護者は「利用していない」が83.1%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が7.5%、「一時保育」が4.5%、「ファミリー・サポート・センター」が2.2%となっています。



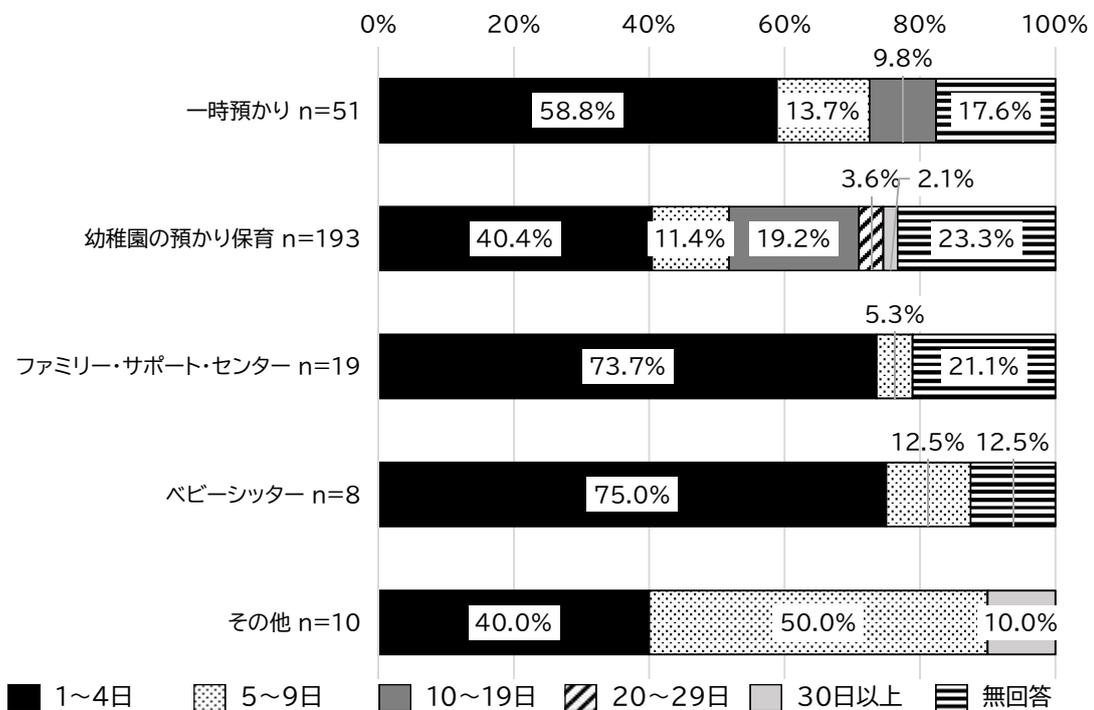
利用日数

各事業の平均の利用希望日数は、「一時預かり」が9.6日/年、「幼稚園の預かり保育」が4.8日/年、「ファミリー・サポート・センター」が5.6日/年、「ベビーシッター」が2.0日/年、「その他」が0.3日/年となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(3)今後の利用希望と利用したい日数

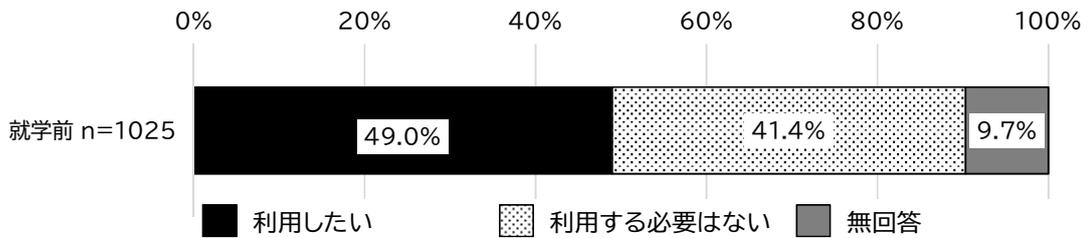
<就学前:問26>

宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。(複数回答)

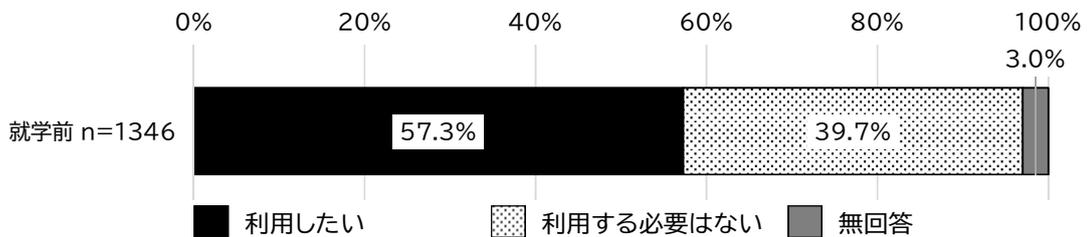
就学前保護者は「利用したい」が49.0%、「利用する必要はない」が41.4%となっています。

利用希望の有無

【今回調査】



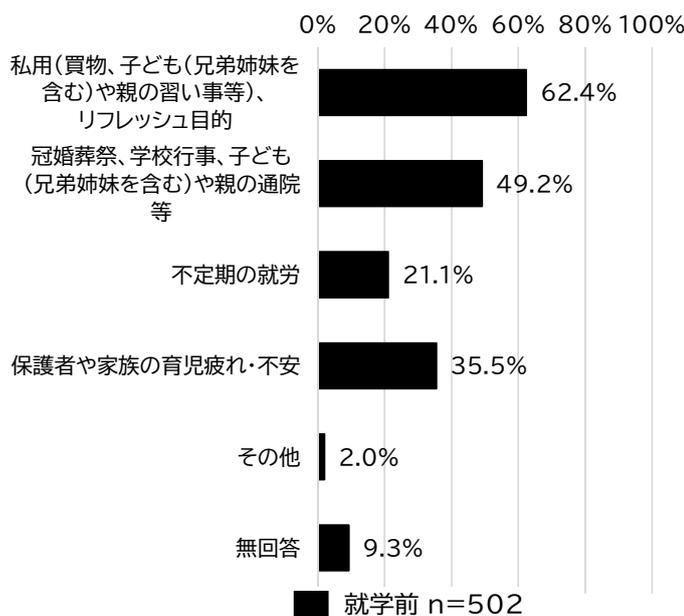
【前回調査】



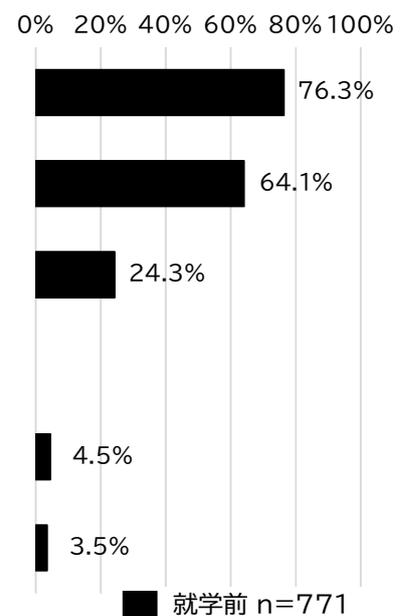
不規則の教育・保育の事業の利用目的

就学前保護者は「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が62.4%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等」が49.2%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が35.5%、「不規則の就労」が21.1%となっています。

【今回調査】



【前回調査】

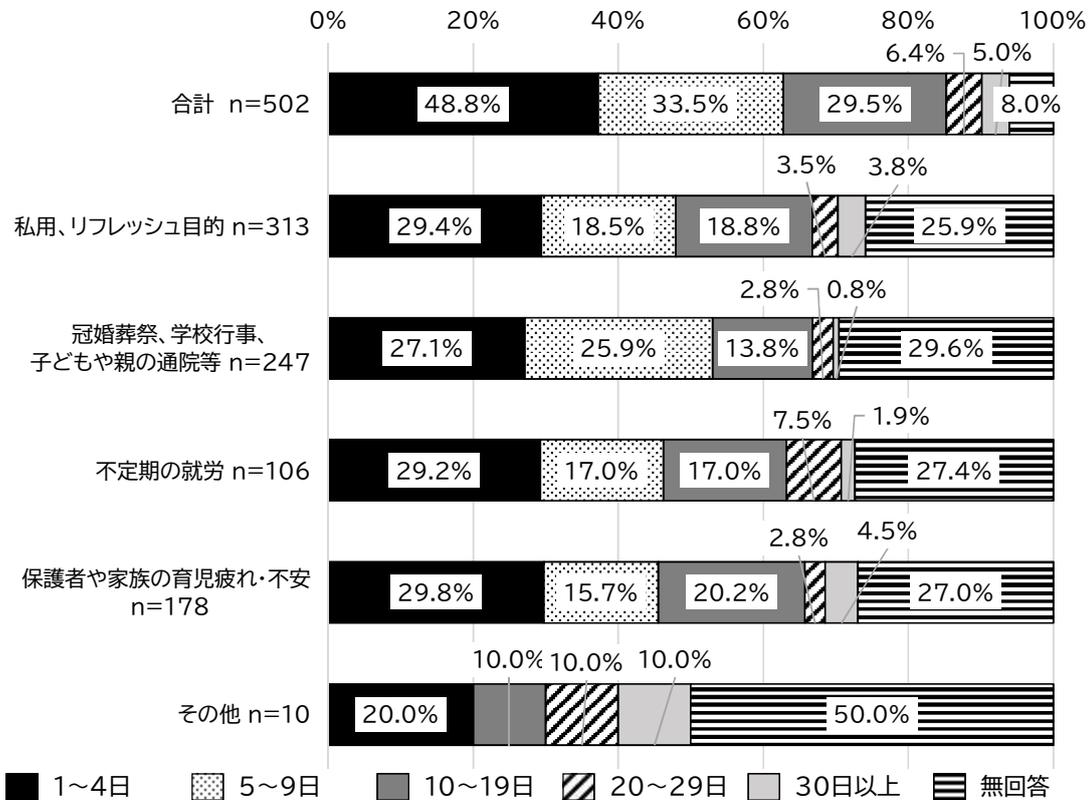


※前回調査では、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の選択肢なし

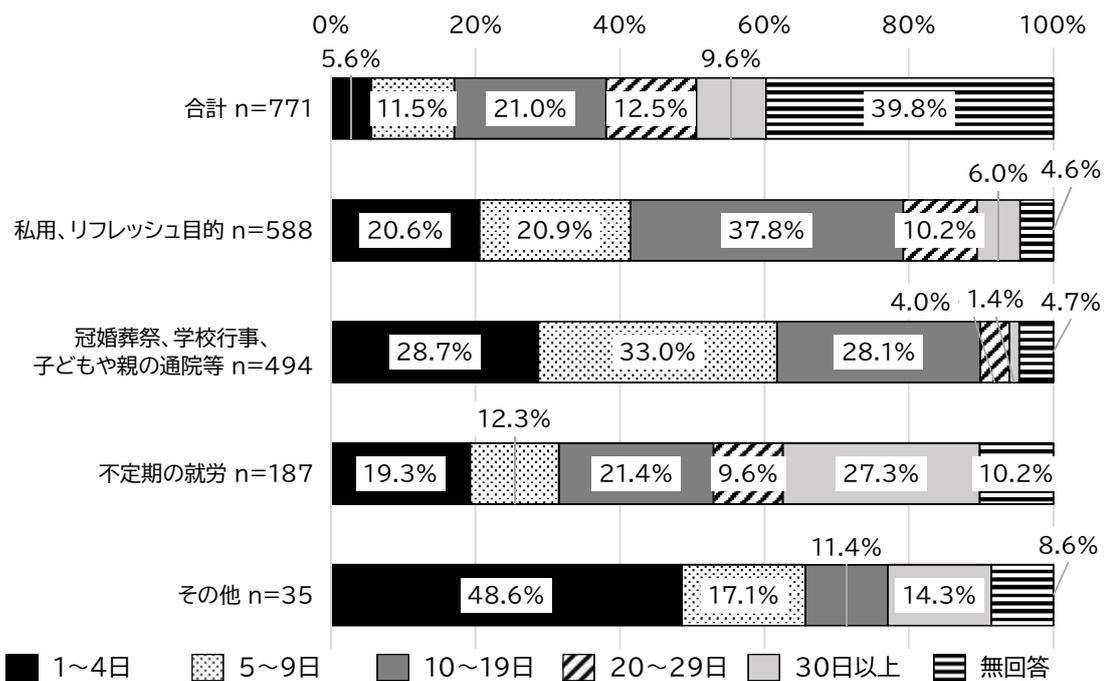
不定期の教育・保育の事業の利用希望日数

1年間合計での平均利用希望日数は7.4日/年であり、目的ごとの平均利用希望日数は、「私用・リフレッシュ目的」が6.4日/年、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が4.4日/年、「不定期の就労」が5.9日/年、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が6.2日/年「その他」が7.3日/年となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の選択肢なし

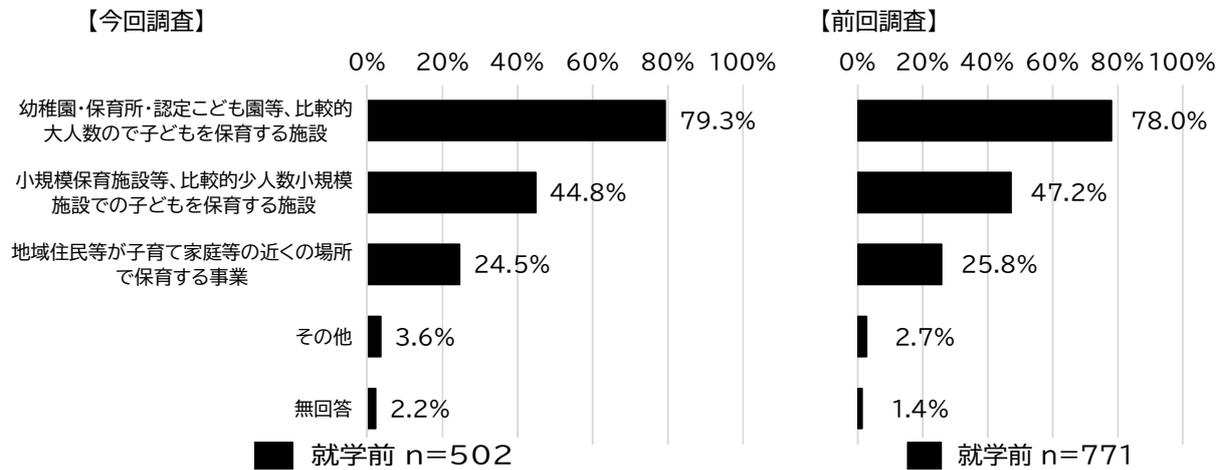
(4)望ましい事業形態

<就学前:問26-1>

問26で「利用したい」と回答した方

問27の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

就学前保護者は「幼稚園・保育所・認定こども園等、比較的大人数で子どもを保育する施設」が79.3%と最も多く、次いで「小規模保育施設等、比較的少人数小規模施設での子どもを保育する施設」が44.8%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が24.5%となっています。



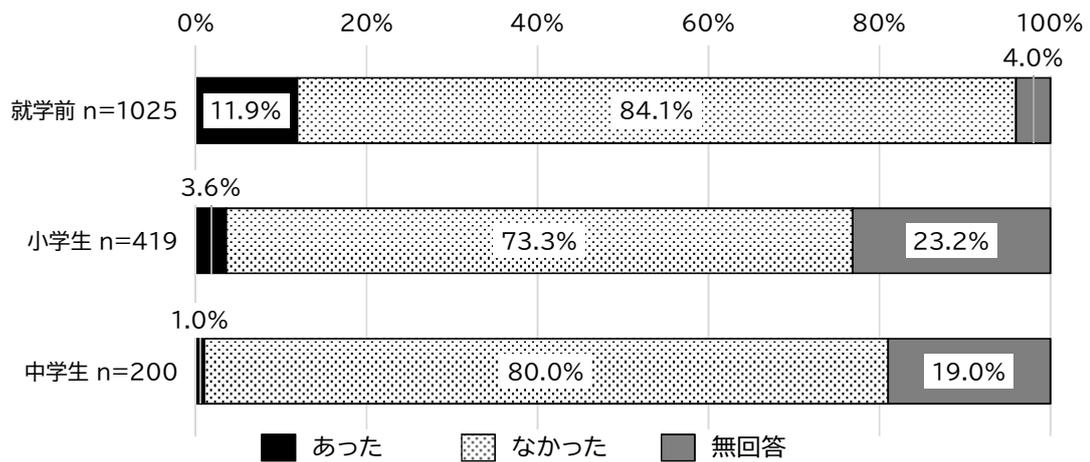
(5)保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数

<就学前:問27、小中学生:問22>

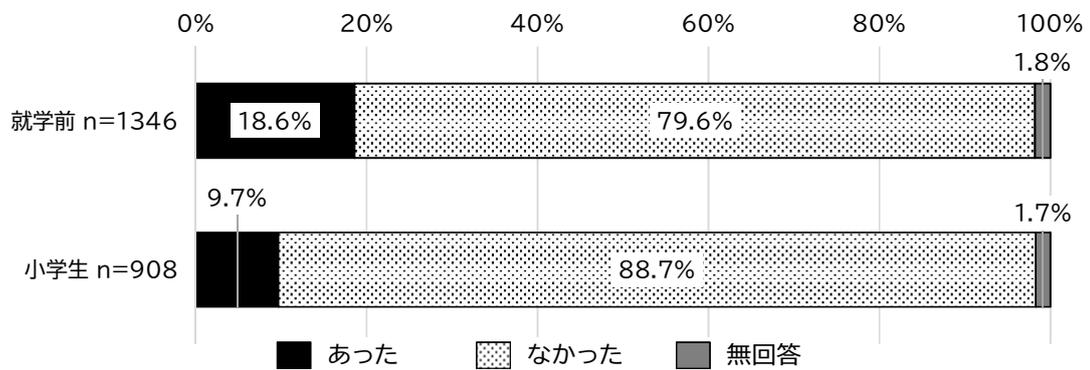
この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(複数回答)

就学前保護者は「なかった」が84.1%、「あった」が11.9%となっています。
 小学生保護者は「なかった」が73.3%、「あった」が3.6%となっています。
 中学生保護者は「なかった」が80.0%、「あった」が1.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

対処方法

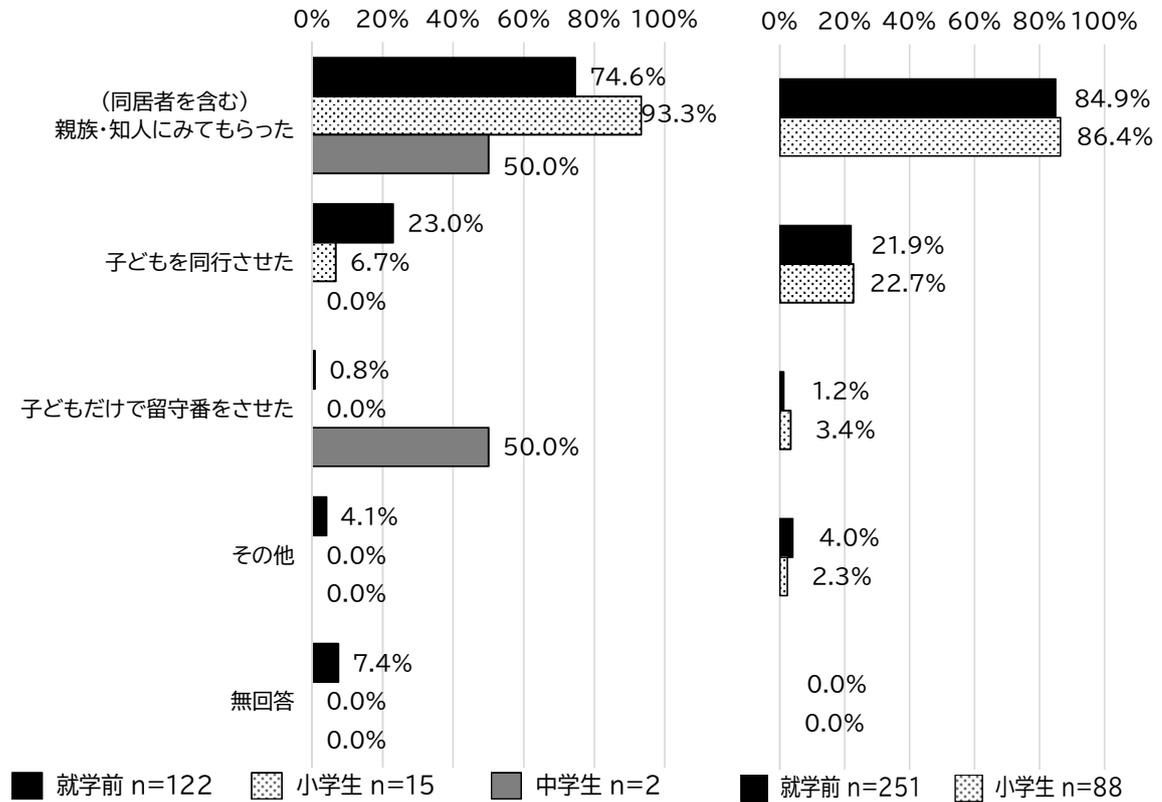
就学前保護者は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が74.6%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」が23.0%、「その他」が4.1%、「子どもだけで留守番をさせた」が0.8%となっています。

小学生保護者は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が93.3%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」が6.7%となっています。

中学生保護者は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と「子どもだけで留守番をさせた」がともに50.0%となっています。

【今回調査】

【前回調査】



※「ショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した」と「ショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」は、共に回答者がいないため、図を省略している

※前回調査では、中学生保護者はなし

宿泊日数

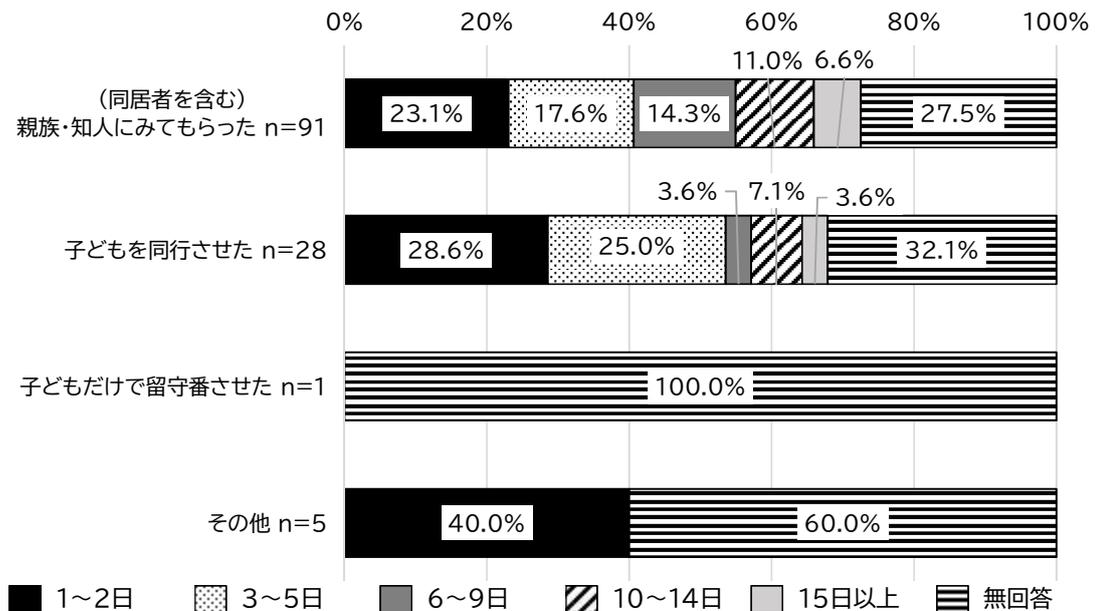
就学前保護者の平均宿泊日数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が7.0日/年、「子どもを同行させた」が4.9日/年、「その他」が2.0日/年となっています。

小学生保護者の平均宿泊日数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が3日/年、「子どもを同行させた」が1.5日/年となっています。

中学生保護者の平均宿泊日数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と「子どもだけで留守番をさせた」がともに1.5日/年となっています。

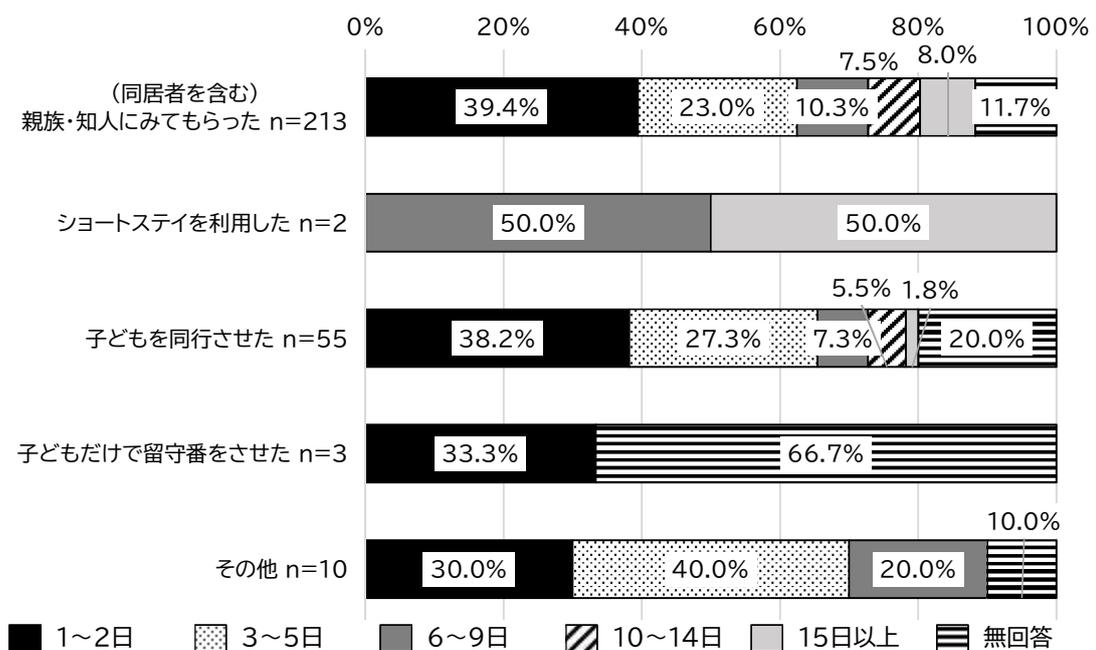
◆未就学児

【今回調査】



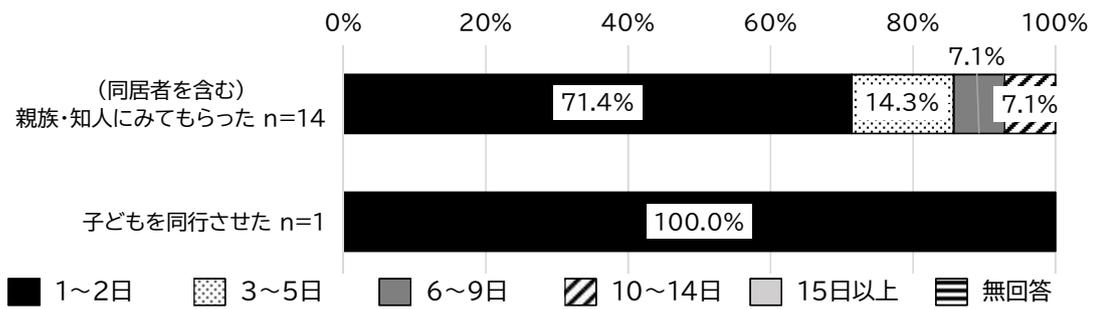
※「ショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した」と「ショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」は、共に回答者がいないため、図を省略している

【前回調査】



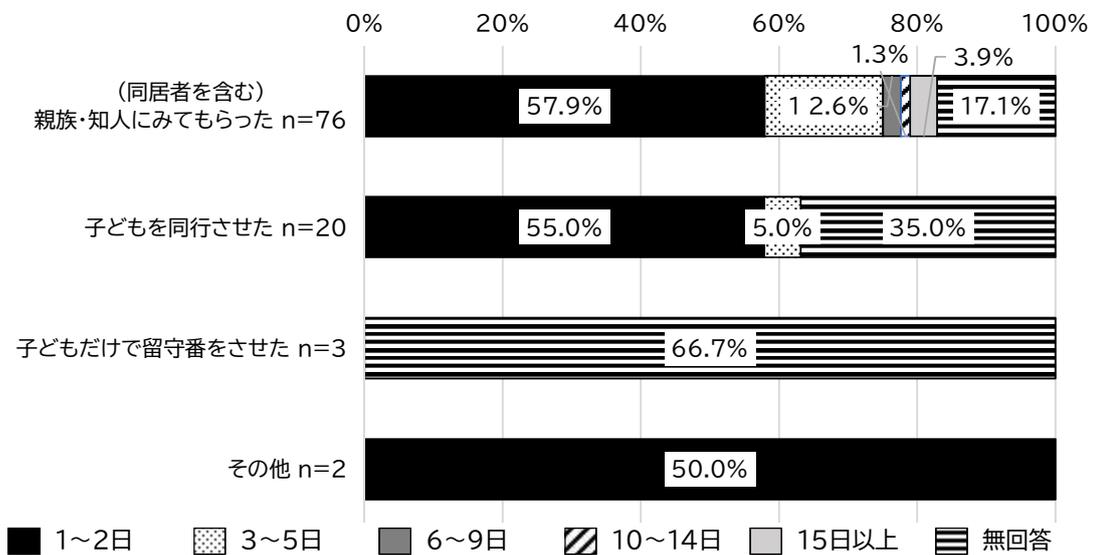
◆小学生

【今回調査】



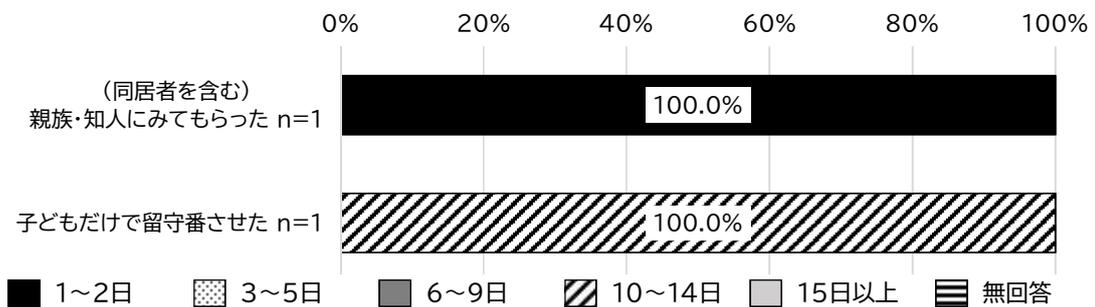
※「ショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した」と「ショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」、「子どもだけで留守番させた」、「その他」は回答者がいないため、図を省略している

【前回調査】



◆中学生

【今回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

※「ショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した」と「ショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」、「子どもを同行させた」、「その他」は回答者がいないため、図を省略している

(6) 親族・知人にみてもらう場合の困難度

<就学前:問25>

問27(就学前)／問22(小中学生)で「あった」に回答し、かつ「(同居者含む)親族・知人にみてもらった」に回答した方

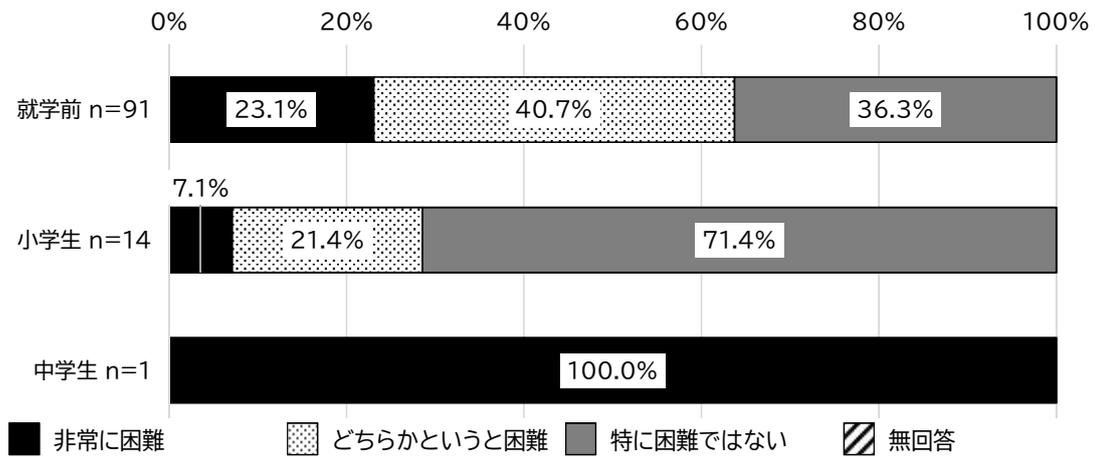
その場合の困難度はどの程度でしたか。(単数回答)

就学前保護者は「どちらかという困難」が40.7%と最も多く、次いで「特に困難ではない」が36.3%、「非常に困難」が23.1%となっています。

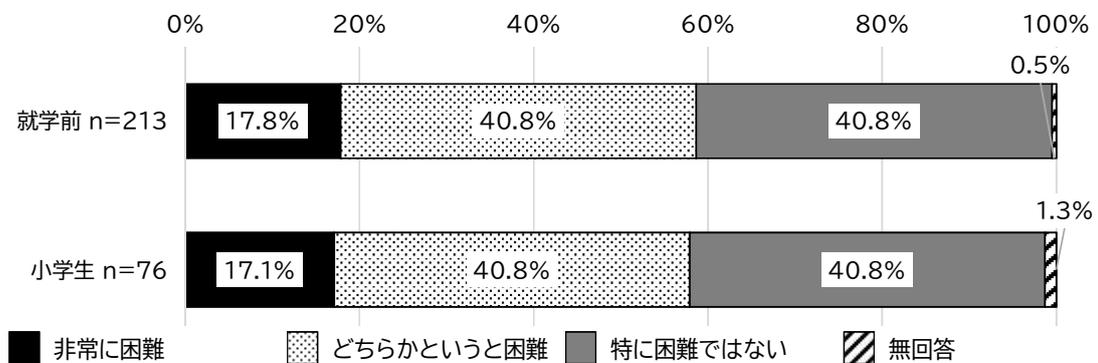
小学生保護者は「特に困難ではない」が71.4%と最も多く、次いで「どちらかという困難」が21.4%、「非常に困難」が7.1%となっています。

中学生保護者は「非常に困難」が100.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし